



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	出井 清	幹事	伊藤 和夫	雑誌会報委員長	小林 透
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町1-2-1 トーシン千葉ビル7階 (☎ 043-245-3204)				

2012年5月第2週号

第2357回



平成24年5月18日(金) 点鐘12:30(晴れ)

- ◆ロータリーソング 『我等の生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

・本日のゲストスピーカー / 写真家 佐藤 憲一様

■会長挨拶及び報告 出井 清会長

5月13日(日)午後8時より、地区広報・IT委員会企画のロータリー活動の広報番組が千葉テレビで放映されました。

21日(月)には、関東では実に173年振りとなる“金環日食”が見られます。太陽に月が被さってリング状に見えるものです。皆既日食は、月により太陽が完全に隠れ、廻りのコロナだけが見えるものです。私が小学生の頃、校庭で小さなガラス板にローソクの煤を当てて見たり、下敷きを翳して日食を見た覚えがあります。

22日には、移動例会で船から眺めたスカイツリーがオープンということで大変話題になっております。3ヶ月先までは予約が一杯で入場出来ないということですが、一度は昇ってみたいと思っております。

■幹事報告 伊藤 和夫幹事

◇次週25日の例会は、27日(日)・28日(月)「職場訪問及び親睦旅行」に変更されますので宜しく願います。

◇千葉緑RCより、チャリティゴルフコンペの参加御礼が届いております。

■ニコニコボックス報告

◇出井 清会長・伊藤 和夫幹事

本日のゲストスピーカー、写真家の佐藤憲一様、ようこそお出で下さいました。卓話を宜しくお願い致します。

◇伊藤 和夫会員

5月14日、千葉緑RC主催の青少年交換チャリティコンペに杉本会員、畠山会員、大塚会員と私の4名で参加して参りました。畠山会員は実力の準優勝、そして・・・、何と、何と、真名カントリーの女神様が私に微笑みかけてくれました。普段の行いが良かったのか優勝の荣誉、メンバーの恵まれ、ハンディに恵まれた本当にラッキーな1日でした。

◇大塚 裕正会員

先日の千葉緑RC主催のチャリティゴルフに参加し、楽しい1日を過ごすことが出来ました。次回は、今回より良いスコアになるよう練習をしたいと思います。

本日のニコニコボックス	4,000 円	累計	631,976 円
金の箱	560 円	累計	22,744 円

■出席報告 (会員数38名)

出席者数27	欠席者数11	ビジター 1	修正出席率 次回にて
--------	--------	--------	------------

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#) [キャップ](#) [ご利用下さい](#)

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	6/12・26	センシティブタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	6/12・26	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	6/27	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	6/27	ホテルポートプラザがちば
千葉中央RC	木	6/28	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	6/28	京成ホテルミラマーレ

第2358回例会

◀職場訪問及び親睦旅行▶

日時⇒ 平成24年5月27日(日)～28日(月)

行き先⇒ 奥多摩方面

職場訪問⇒ JAXA調布航空宇宙センター

小澤酒造

第2359回例会

日時⇒ 平成24年6月1日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『身近な労働問題について』

卓話者⇒ 酒井 秀大会員

…本日の卓話…

演 題…『東日本大震災一年後の東北
～ファインダーを通して～』
卓話者… 写真家 佐藤 憲一様



はじめまして、カメラマンの佐藤憲一です。話し下手なので、このような場所で皆さんに話ができるような柄ではないのですが、2月中旬から3月上旬にかけて、NHKの仕事で東日本大震災の被災地を回ってきましたので、その時の話をさせていた

だきたいと思います。

簡単に自己紹介させていただきますと、一応、千葉高を出たものの、高校時代はサッカーばかりやっていて、大学は地方の金沢大学。千葉高生としてはどちらかというとドロップアウト組でした。大学卒業後も何をしたらいいかわからなくて、アルバイトで貯めた100万円を元手に、中国の上海からポルトガルまで1年間かけて、ユーラシア大陸横断の貧乏旅行をしてきました。そして、帰国後、主に旅関係の写真を撮るフリーのカメラマンになりました。

ちょうど東日本大震災から一年を迎えて、3月10日、11日にNHKで放送された特別番組の中で使われたフォトメッセージの写真を撮るために、2月中旬から3月上旬にかけて、南は茨城県の北茨城、福島県いわき市、広野町、川内村、そして、福島第一原発がある大熊町の人たちの仮設住宅がある会津若松、北は青森の八戸から入り、岩手の久慈、野田村、宮古、スーパー堤防のあった田老地区、大槌町、釜石、大船渡、南三陸、女川、石巻と回ってきました。

石巻高校に設けられた特設スタジオに約300組の人たちの写真メッセージが展示されました。カメラマン3人体制だったので、私が撮った写真はこのうち130組ぐらいです。

そこで、質問ですが、皆さんは、被災地に行ったことがありますか？

実は私は、NHKの仕事が入るまでは被災地には行ったことがありませんでした。

今、私の子どもが小学2年生と中学1年生でまだまだ手がかかる時期でして、正直言って、他人のことにまで気を回している余裕がないというのが現実です。もちろん東日本大震災はショックでしたし、被災地のことも気になっていましたが、ボランティアに行くような余ったエネルギーはなく、寄付金をしたぐらいでお茶を濁していました。

今回のNHKの被災地取材は、2月中旬と3月上旬の2回に分けて行きました。2月中旬は福島県を中心に福島原発の被害を大きく受けているところへ、3月上旬は

岩手・宮城を中心に津波被害の大きかったところを回ってきました。

ある意味、福島原発の被災地の方が将来的には大変かとも思うのですが、特に津波被害の大きかったところは、テレビや写真を通して何度も見てはいましたが、実際にその現場に立ってみると、想像以上の凄まじさでした。町が一瞬でなくなるということを実際に肌身を通して感じました。戦後、焼け野原になった日本を想像してしまいました。

これは家族にも見せておかなければいけないと思い、先日のGWに自分の家族、妻の父、妻の兄家族総勢9名で南三陸町まで一泊二日で行ってきたのですが、妻は原爆ドームだけが残った原爆投下後の広島が頭に浮かんだそうです。そして、何もなくなってしまった町をみて、これからいったいどうしたらいいんだろうと途方にくれてしまったそうです。

写真を撮っている人間として、写真の限界をみずから認めるようなものですが、皆さん、ぜひ一度、現場に行ってみてください。ボランティアではなくても、旅行に行っただけでも、十分に意味があると思います。

ここで、実際に私が撮ってきた写真をざっとお見せしたいと思います。実際の被災地は想像を超えています。

例えば、北に比べれば被害が少なかった福島県のいわき、そうはいっても、死者・行方不明者500名ですが、沿岸部の津波被害はこんな感じです。

それから、いわき市に隣接する茨城県の北茨城市、被害者数はさほどではありませんでしたが、沿岸部の津波被害はかなり大きく、港もほぼ壊滅に近い状態でしたが、3月からやっと水揚げが再開されました。しかし、放射能汚染の問題もあり、魚に値段がつかない厳しい状況が続いているようです。

それから、被災地には2種類あります。津波で町が壊滅し、人的被害も大きかった岩手・宮城沿岸部。もうひとつは福島原発の被害が大きい福島県。岩手・宮城は確実に復興への道を歩み始めていますが、福島原発周辺の被災地の人々はいまだにトンネルの中です。

いずれにしても、ぜひ、皆さん、自分たちの目で被災地を見に行ってみてください。



(写真・文責 佐藤 憲一氏)